

障害者スポーツの振興と交流を図る —第1回南丹市身体障害者福祉会スポーツ大会—



▲卓球バレーなどが競われました

南丹市内の身体障害者スポーツの振興を図り、社会参加の促進およびスポーツを通じた交流と親睦を深めることを目的に、第一回南丹市身体障害者福祉会スポーツ大会が南丹市日吉総合運動広場およびユースホールで行われました。

開会式では第六回全国障害者スポーツ大会「のじぎく兵庫国体」のフライングディスク競技のディスクスタンス（ディスクを遠くへ飛ばす競技）とアキュラシー（ディスクを投げて輪に通す競技）で三位に

なった松本辰雄さん（八木町）とディスクスタンスで一位になった松本弘子さん（八木町）が「ハンディを克服し、持てる力を精いっぱい出し切ります」と選手宣誓をしました。

競技は卓球バレー、ゲートボールが各支部ごとに、フライングディスク、グラウンドゴルフが個人競技で行われ、集まった百人の参加者は、日頃の練習の成果を発揮しようと競技に集中するとともに、競技のコツなどを教えあひながら、交流を深めていきました。



▲選手宣誓を行った松本辰雄さん(左)と松本弘子さん(右)



▲球根を一つひとつ丁寧に植えました

「みんなで人権の花を咲かせよう」

十月二十六日、南丹市立殿田小学校の四年生二十一人が人権の花の植え付けを行いました。

子どもたちが協力しながら、花の栽培をすることで、命の大切さや相手を思いやる気持ちを身につけてもらおうと、園部人権擁護委員協議会から小学校へ水仙の球根百三十個とプランターが贈られました。

児童を代表して湯浅栄太君が「みんなで大事に育てていきます」とお礼を言い、贈られた球根をみんなで協力しながら植えていきました。

十月三日、南丹市バス交通整備計画検討委員会が行われました。委員会では、十四人の委員の互選により委員長に谷義治さん（園部町）、副委員長に吉見徳寛さん（八木町）を選出。続いて、現在の市営バスの路線、ダイヤ、利用状況について事務局から説明がありました。また、市営バスの現状と課題について、住民アンケートを実施することが決められました。

今後は、アンケートの結果などを基に、改善や計画方針がまとめられ、具体的な取り組みが行われていきます。

利用しやすい交通機関をめざす —バス交通整備計画検討委員会—



▲市営バスの現状について説明されました